

A large, stylized logo in shades of blue and yellow, resembling a globe or a stylized letter 'A', serves as the background for the text.

2023年3月期  
決算説明資料

2023年6月9日  
神田通信機株式会社

(証券コード:1992)

当社は、昨年創立75年を迎えることができました。これは、ひとえにお客様をはじめとした関係者の皆様のおかげであります。

ここに改めまして感謝申し上げます。

今後も、お客様のインフラ(事業環境・空間)を創り、守り、育てる事業を通じた社会的課題の解決を、企業としての競争力の源泉、ならびに成長の原動力に繋げてまいります。

# 目次

1. 2023年3月期 連結決算の概要

2. 2024年3月期 連結決算の見通し

3. 企業価値向上に向けた取組み

# 1. 2023年3月期 連結決算の概要

---

# ①連結業績の概要

- 売上は33百万円の微増ながら、原価意識の浸透により、売上総利益額が139百万円増加(粗利率30.6%)と収益性が向上した
- 当期純利益は、前期の繰延税金資産急増による税金費用への影響が無くなり、179百万円の減益となった

(百万円)	2022年3月期			2023年3月期			前期比増減	
	上半期金額	下半期金額	通期金額	上半期金額	下半期金額	通期金額	金額	率
売上高	2,425	3,520	5,945	2,472	3,506	5,978	33	0.6%
売上原価	1,777	2,479	4,256	1,741	2,409	4,150	△106	△2.5%
売上総利益	648	1,041	1,689	731	1,097	1,828	139	8.3%
売上総利益率	26.7%	29.6%	28.4%	29.6%	31.3%	30.6%	-	-
販売費及び一般管理費	605	713	1,318	625	719	1,344	26	2.0%
営業利益	42	328	370	106	377	483	113	30.6%
営業利益率	1.8%	9.3%	6.2%	4.3%	10.8%	8.1%	-	-
経常利益	77	366	443	147	412	559	115	26.2%
税金等調整前当期純利益	77	389	466	178	412	590	124	26.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	35	528	563	111	272	383	△179	△31.8%
当期純利益率	1.5%	15.0%	9.5%	4.5%	7.8%	6.4%	-	-

※記載金額の表示単位未満の端数につきましては、切り捨てて表示しております

## ②セグメント別業績の概要

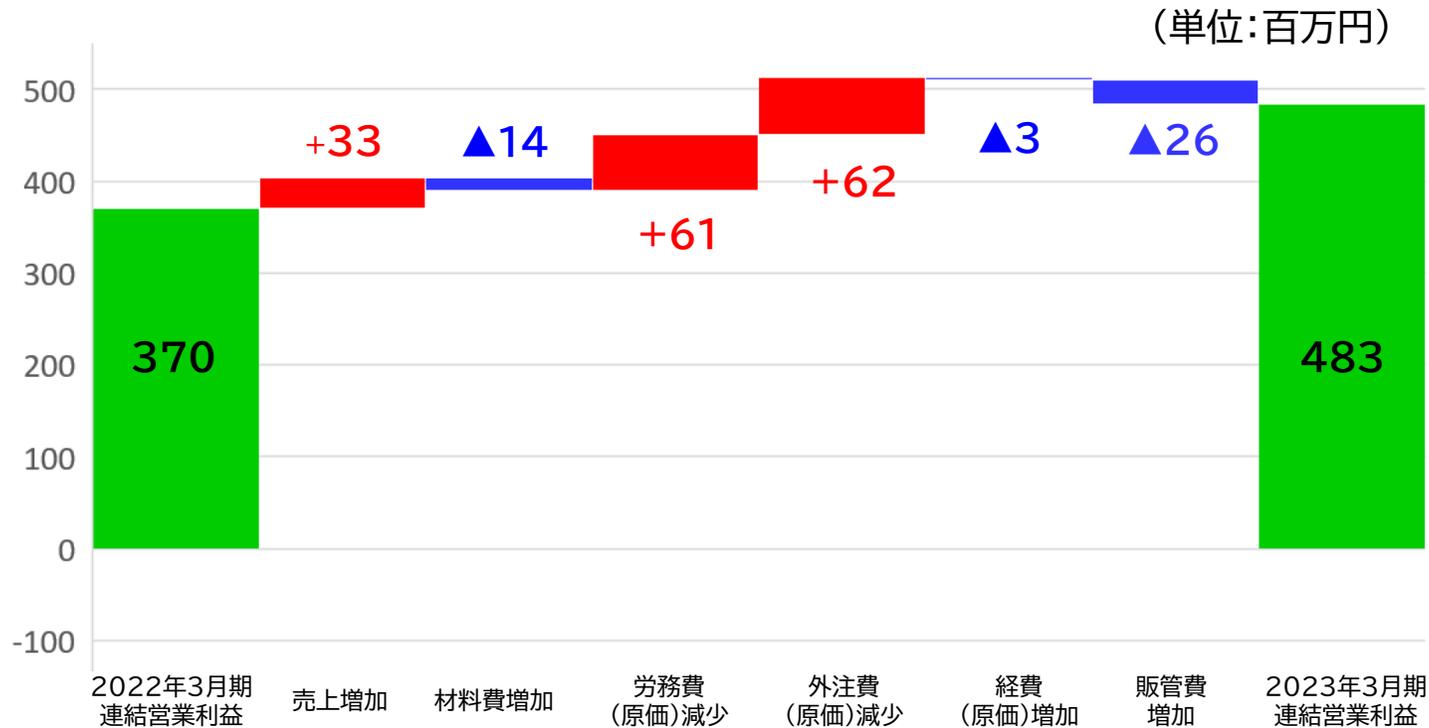
- 情報通信事業・・・売上水準微増ながら、収益性向上策の推進により、営業利益が対前年比141.7%と大幅に増加
- 照明制御事業・・・案件開拓の出遅れから受注が減少し、125百万円の減収

(百万円)		2022年3月期			2023年3月期			前期比
		上半期金額	下半期金額	通期金額	上半期金額	下半期金額	通期金額	
情報通信	売上高	2,204	3,188	5,392	2,268	3,282	5,550	102.9%
	売上総利益	610	945	1,555	681	1,052	1,733	111.5%
	営業利益	46	288	334	101	373	474	141.7%
	営業利益率	2.1%	9.0%	6.2%	4.5%	11.4%	8.5%	137.6%
照明制御	売上高	191	301	492	174	193	367	74.7%
	売上総利益	19	83	102	31	27	58	57.2%
	営業利益	-21	24	3	-12	-14	-26	-
	営業利益率	-11.0%	8.0%	0.6%	-6.9%	-7.3%	-7.1%	-
不動産	売上高	30	30	60	30	30	60	100.2%
	売上総利益	17	14	31	17	19	36	115.2%
	営業利益	17	14	31	17	19	36	115.2%
	営業利益率	56.7%	46.7%	51.7%	56.7%	63.3%	60.0%	115.0%
合計	売上高	2,425	3,520	5,945	2,472	3,506	5,978	100.6%
	売上総利益	648	1,041	1,689	731	1,097	1,828	108.3%
	営業利益	42	328	370	106	377	483	130.6%

※記載金額の表示単位未満の端数につきましては、切り捨てて表示しております  
 ※売上収益のセグメント間の取引につきましては相殺消去しております

# ③要因分析

## ■ 連結営業利益の変動分析



(チャート説明)

1. 連結売上が33百万円増加
2. 売上増加に伴い材料費が増加したものの、労務費及び外注費は減少
3. 採用を積極化したことから販管費が増加

### ■ 外部要因

#### 1. 事業構造の変化に関連する影響

(1)依然として、オンプレ型PBXへの根強い需要あり

(2)主として都市圏のタクシー業界において、無線のアプリ化が進み市場縮小が加速

#### 2. 市場環境の変化に関連する影響

(1)民間企業を中心に、ネットワークの高度化に関するご相談が増加傾向

(2)公共分野を中心に、従来型の通信ネットワーク関連投資が増加傾向

### ■ 内部要因

#### 1. 情報通信事業

- (1)受注の選別を行い、不採算案件の受注を見合わせたことから、収益性が向上した
- (2)効率的な施工で、技術者の生産性が向上した

#### 2. 照明制御事業

- (1)売上高の少なさを補うだけの短納期案件の受注に至らなかった

## ⑤連結貸借対照表の概要

( 単位:百万円 )

	2022年3月31日現在	2023年3月31日現在	前期比	
流動資産	4,865	5,123	258	売上債権の増加
固定資産	3,486	3,478	△ 8	
資産合計	8,352	8,602	250	
負債	3,335	3,320	△14	
純資産	5,017	5,281	264	
負債・純資産合計	8,352	8,602	250	

## ⑥連結キャッシュフロー計算書の概要

( 単位:百万円 )

	2021年4月1日～ 2022年3月31日	2022年4月1日～ 2023年3月31日	前期比	
営業活動によるキャッシュ・フロー	133	43	△ 90	棚卸資産の増加など
投資活動によるキャッシュ・フロー	208	91	△ 117	投資有価証券の取得による支出
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 233	△ 217	16	
現金及び現金同等物の増減額	108	△ 82	△ 190	
現金及び現金同等物の期首残高	2,329	2,437	108	
現金及び現金同等物の期末残高	2,437	2,354	△ 83	

## 2. 2024年3月期 連結決算の見通し

# ①連結決算の見通し

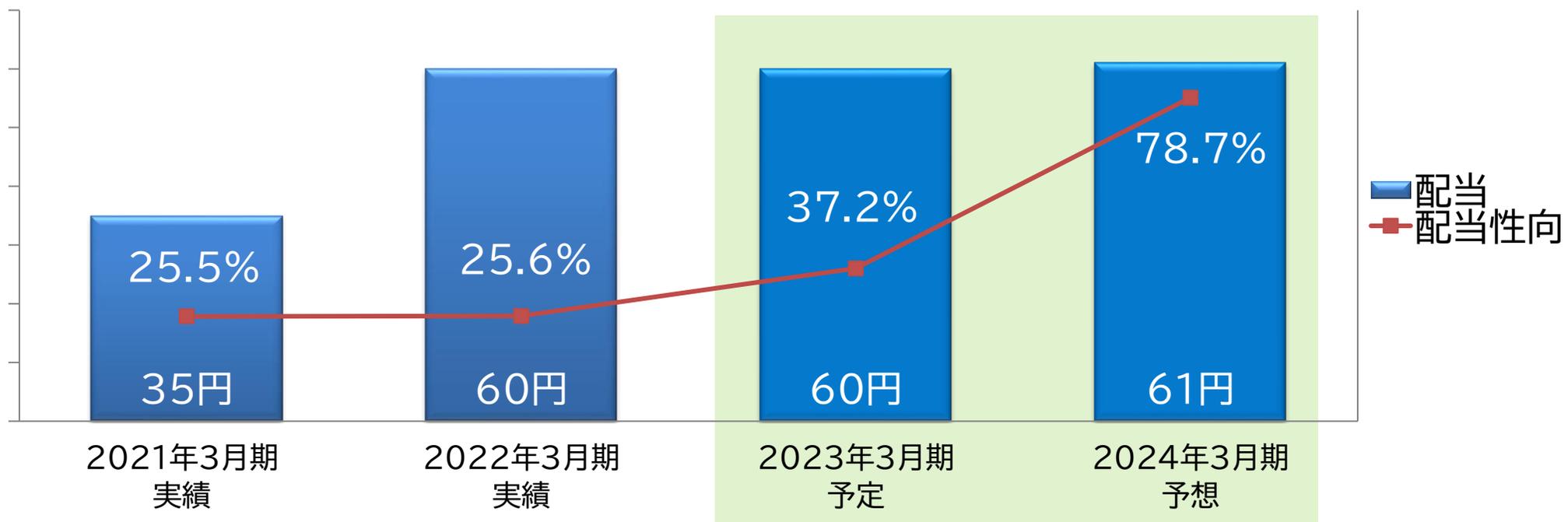
- 事業構造を、工事売上主体から利用料ビジネス(ストックビジネス)へ切り替える狙いから、売上ベースではほぼ横ばいを計画  
また、中長期的な企業価値向上の観点から、人材投資をはじめとする各種先行投資を予定しており、減益となる想定

(百万円)	2022年3月期 (85期)	2023年3月期 (86期)	2024年3月期 (87期)予想
	実績	実績	2023年5月10日 開示
売上高	5,945	5,978	5,850
売上総利益	1,689	1,828	1,680
営業利益	370	483	250
経常利益	443	559	320
当期利益	563	383	180
当期利益率	9.5%	6.4%	3.1%
ROE	11.9%	7.5%	3.4%

※記載金額の表示単位未満の端数につきましては、切り捨てて表示しております

## ②配当予想

- 当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題の一つと位置付け、収益性の向上と財務体質の強化に努めるとともに、ROE8%を目指した業績及び中長期的な視点に立った事業活動を推進しております  
これまで当社では、当期利益の一定割合を配当とする配当性向の指標を定めておりましたが、株主の皆様への利益還元の姿勢を一層強化するとともに、将来を見据えた投資による減益などによって減配になる可能性があることから、配当の基準をDOE(株主資本配当率)に変更し、当面の間はDOE3%を目途として設定し、安定的な配当を継続することに変更することといたしました  
当期は1株当たり60円、来期は1株当たり61円を予定しております



(2023年5月10日開示)

### 3. 企業価値向上に向けた取組み

---

# ①主な取組み(1)

## 1. 情報通信事業

- (1) 利用料ビジネス(=ストックビジネス)を確立する
- (2) ネットワーク工事(カメラ、Wi-Fi、セキュリティ)を強化する
- (3) オンプレ型PBXへの根強い需要にも対応する

## 2. 照明制御事業

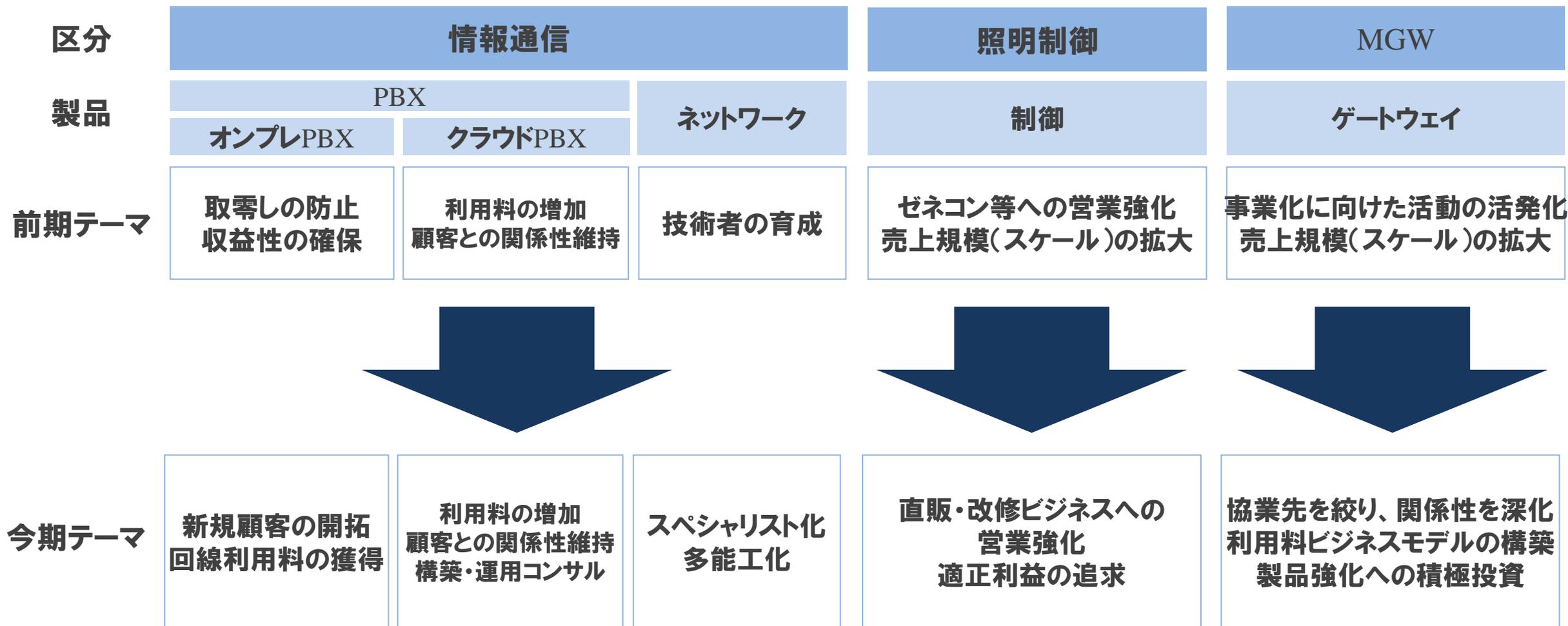
- (1) 短納期案件や改修案件のマーケティング力を強化する
- (2) 案件受注の際の採算性を厳しく見極める

## 3. 全社

- (1) 当社の強みである24時間365日保守サービス体制を通じ、  
より多くのお客様のニーズに応える
- (2) 顧客ニーズの変化に対応した利用料(ストック収入)の増加に注力する
- (3) 中長期的な企業価値向上の観点から、人材関連と製品強化等の先行投資  
を実行する
- (4) MGWを活用したソリューションビジネスを構築する

# ①主な取組み(全体像)

## 4. 全体像





### クラウドPBX

- ・民間の大手多拠点顧客を中心にソリューションを提案
- ・回線も含めたトータルネットワークを提案



### 光コラボ回線サービス

- ・当社保守契約を中心に通信回線コンサルティング実施
- ・回線用途の見える化・最適な通信チャネルを提案
- ・ワンストップでサービスを提供



### 様々な設備を接続、連動 ものを繋ぐソフトウェア

- ・大手ゼネコン・設計事務所・キャリアとの協創を強化、次世代ビルネットワーク創生を目指す
- ・得意市場の医療福祉、工場・倉庫業への展開

組み込みソリューションとしてのご提供促進

## 1. ゼネコン

スマートビルディング市場がターゲット

ゼネコンが開発したビルOSとビル設備(照明・空調など)を繋ぐゲートウェイとしてビルOSに組み込む

【実績】※[]内は、ゼネコンが開発したビルOS名称

大成建設(株) [LifeCycleOS™]・・・大成建設技術センター、大成建設横浜支店、大成建設関西支店  
(株)竹中工務店 [ビルコミ™]・・・竹中セントラルビルサウス・コモングランドリビングラボ

## 2. 通信事業者

通信事業者が保有しているアプリケーションと建物設備等を繋ぐゲートウェイとして提供

【連携実績・提案内容】

SBテクノロジー(株)・・・省エネ・社員交流分析 [人員位置情報・人数カウント+照明・空調制御]

NTTコミュニケーションズ(株)・・・予防保全、コスト・リスク削減、アフターフォローの充実化

(NTTコミュニケーションズ田町ラボ<CROSS LAB>)[照明・空調・ロボット・建物データ連携]

組み込みソリューションとしてのご提供促進

## 3. 設計事務所

カーボンニュートラルにおける環境対策や、働き方改革へ対応した設備設計を実施するためにマルチゲートウェイを採用

(省エネ目的の設備制御[照明・空調]、人の居場所を可視化して「ひとり残業」を減らす行動変容アプリ)  
【実績】

- (株)日建設計 … 日建設計東京本店、日建設計大阪支店
- (株)三菱地所設計 … 某物件(1件)

## 4. メーカー

設備・IoT機器・センサーメーカーと協業し、ソリューションの構築を進める

【主な協力企業と製品名】

- (株)遠藤照明 … SmartLEDZ® [無線照明]
- (株)ナカヨ … ファクトリーNYC®、IoT無線センシング [センサー取得情報可視化システム]
- 三菱電機照明(株) … MILCO.NET® [照明制御システム・画像センサー他] misola® [青空照明®]
- (株)WHERE … EXOffice® [位置情報システム]

※SmartLEDZは(株)遠藤照明の登録商標です。ファクトリーNYCは、(株)ナカヨの登録商標です。EXOfficeは、(株)WHEREの登録商標です。  
MILCO.NET, misola, 青空照明は、三菱電機(株)、三菱電機照明(株)の登録商標です。

# ご清聴ありがとうございました。

本資料における将来の業績等に関する記載は、現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づき作成しております。

今後の実際の業績は、様々な要因の変化により記載の見通しとは異なる結果となりうる可能性があります。

また、本資料は投資勧誘を目的に作成したものではありません。投資を行う際は、ご自身のご判断で行って頂きますようお願い申し上げます。

